

学ぶところが輝く学校

茅ヶ崎市立汐見台小学校

学校だより 9月号

令和5年 9月 1日

校長 大越 敏孝



夏の夕暮れ時、校門を閉めようとしていると、自転車に乗ったプール帰りの女の子が「校長先生！」と声をかけてくれました。日焼けした顔で「学校始まるの楽しみ～」と、笑顔で手を振る姿にとてもうれしい気持ちになりました。楽しいことがたくさんあった夏休みだったと思います。夏休みも楽しかったけれど、それでもやっぱり学校は楽しいと答えてくれる子がいること、大切にしたいと思いました。

暑い暑い夏休みが終わり、前期後半がスタートしました。子どもたちの元気な姿とにぎやかな声が、学校にもどってきました。まだまだ暑い日は続きそうですが、朝夕の夕風に秋の気配も感じられるようになりました。屋上の田んぼでは稲の花が咲き、穂をつけ始め、「実りの秋」を迎えようとしています。秋は、運動会をはじめ、6年生の修学旅行、開校12周年をお祝いする会など、子どもたちにとっても今までの学習の成果を発表したり、節目となる行事が続きます。様々な活動を通して、今までの学びを振り返り、自分の成長を確かめる機会にしていきたいと思います。

今年の学校のスローガンは、「強い絆と努力で新しい未来へ」です。運営委員会を中心に、それぞれの学級の意見を一つにまとめて決めました。体育館の窓に貼られたスローガンの文字は、各学級でデザインし、みんな協力して完成させました。一枚一枚が明るくすてきな作品です。

「みんなでしっかり手を取り合って、互いに励ましあい力を尽くして未来への一歩を踏み出す。」今の汐見台小学校にふさわしい、力強く勇気が湧いてくるような、すばらしいスローガンだと思います。

子どもたちの自主性や主体性を大切にしながら、一人ひとりの学習の積み重ねを認め、励まし、丁寧に支援して、豊かな人間関係が築けるように教育活動を進めていきたいと思っています。



汐小の米づくり『稲の開花』



汐見台小の屋上田んぼの稲『はるみ』。「湘南の晴れた海」という名前の由来どおり、毎日湘南の日差しをたくさん浴びて、夕風に吹かれながら大きく育ちました。8月12日（土）には、小さなかわいい花をつけ、今では稲穂の頭も垂れはじめました。

5年生は、夏休み中の稲の生長に驚いていました。今後の台風が心配ですが、嵐に負けずたくましく育て、豊かに実ってほしいです。稲刈りも楽しみです。

PTA大掃除ボランティア・窓ふきボランティア

暑い中、
ありがとうございました!!



汐見台小PTAの主催で「夏休み前の大掃除の会！」が7月18日（火）に行われました。PTAボランティアの皆さんが、校舎内の階段を中心に子どもたちだけでは難しい場所をピカピカに掃除してくださいました。また、前期再開直前の8月28日（月）には、「窓掃除ボランティア」の皆さんが、教室の窓を磨いていただき、ベランダやデッキが見違えるようにきれいになりました。

最後にこの活動が行われたのはコロナ禍前。久しぶりの清掃でした。保護者の皆さんだけでなく、お子さんと一緒に家族で参加された方もたくさんいらっしゃいました。教職員も一緒に汗をながしながら楽しく清掃でき、夏休み明けの子どもたちも気持ちよく学習を始めることができました。ご協力ありがとうございました。



『ど根性ひまわり』～茅ヶ崎支援学校とのつながり～



汐見台小学校が開校する直前に発生した東日本大震災。被災した宮城県石巻市のがれきの中から、津波で流されてきたひまわりの種が塩害にも負けずに発芽し、震災の年に立派なひまわりの花を咲かせました。それが苦境にも負けなたくましい「ど根性ひまわり」の始まりです。そして2011年の夏に咲いた「ど根性ひまわり」の子孫から12代目の花が汐見台小学校の花壇で咲きました。

この花の種は、今年度「防災パートナーシップ*」を結んだ茅ヶ崎支援学校からいただき、飼育・栽培委員会の子どもたちが種をまきました。支援学校の先生には、7月13日（木）に仲よし級で防災教育も行っていただきました。災害にも負けな「ど根性ひまわり」の生命力を感じるとともに、開校の年にあった震災を忘れないようにしたいと思います。

夏休み中の8月25日（月）には、茅ヶ崎支援学校のスクールバスが汐見台小付近を走行時に発災したことを想定し、支援学校教職員による汐見台小学校への避難訓練を行いました。

今後も「ど根性ひまわり」や「防災」のつながりを大切にしながら、茅ヶ崎支援学校との連携を深めていきます。

*「茅ヶ崎市立汐見台小学校と神奈川県立茅ヶ崎支援学校とのスクールバス運行に関する防災パートナーシップ」の略



『なぎさの子☆村まつり』のお知らせ 9月16日(土) 13:30～16:30

開校以来、毎年行われていた『なぎさの子☆村まつり』が、4年ぶりに開催されます。コロナ禍により2年前に『なぎさの子☆チャンネル』として、お昼のテレビ放送を使って実施。コロナ禍でも、子どもたちや地域とのつながりを大事にしてきた行事です。昨年もコロナの影響により直前で中止になってしまったものの『なぎさの子☆チャンネル』で内容を公開。今年は、いよいよ汐見台小学校が『なぎさの村』になっての参集型での実施です。和太鼓をはじめさまざまな体験ができる村をはじめ、ポップコーンやジュースの販売やスーパーボールすくいもあるそうです。

詳しくは、汐見台小学区青少年育成推進協議会（推進協）からお知らせがあります。土曜日の開催となりますので、学校への行き帰りは徒歩で、安全に十分気を付けてきてください。



第52回茅ヶ崎市小・中学校 創意工夫・研究作品展のご案内



日時：9月15日（金）～17日（日）10:00～16:00

場所：茅ヶ崎市青少年会館（茅ヶ崎市十間坂3-5-37）＊梅田中学校前

＊学校から各学年代表を2作品（創意工夫作品、研究作品を各1作品ずつ）を出品。金・銀・銅賞受賞作品が展示されます。受賞作品は、10月2日（月）～31日（火）に、第52回茅ヶ崎市小・中学校 創意工夫・研究作品展のホームページに掲載されます。

令和6年度給食費引き落とし口座の「ゆうちょ銀行」への移行に向けて

～ゆうちょ銀行の口座のご用意はすませただけでしたか～

1～5年生の
保護者の皆様へ

7月20日付配付でお知らせさせていただいた「学校給食費自動引き落とし金融機関の変更及び手続き書類の提出等について」のとおり、令和6年度から給食費の引き落とし口座を、現在の湘南信用金庫から「ゆうちょ銀行」へと変更となります。

1～5年生の保護者の皆様で、「ゆうちょ銀行」の口座をお持ちでない方には、夏季休業中に口座の開設をお願いしましたが、ご準備の方はいかがでしょうか。今後、学校から配付される「自動払込利用申込書」に口座番号等をご記入いただきますので、お手順をおかけいたしますが、口座準備のご協力をお願いいたします。



『学校運営協議会と教職員との懇談会』～コミュニティスクールだより～

汐見台小学校に学校運営協議会が設置され、コミュニティスクールとなってから1年が経ちました。この間、学校やPTAの代表を含む14名の委員は、協議会の方向性や活動内容について話し合ってきました。

7月25日（火）には、これまでなかなか実施できなかった学校運営協議会委員の皆さんと教職員との懇談会を行いました。懇談会のテーマは、①教育・学力・学習支援、②防犯・防災・安全、③環境・福祉・地域の3つ。教職員は、それぞれのグループに分かれて、協議会で取り組もうとしていることを共有し、意見の交換をしました。

話し合いは、自己紹介から笑い声も聞こえるほど、終始和やかな雰囲気で行われました。参加した教職員からは、「協議会の皆さんの話から子どもたちへの熱い想いを感じました。」「地域の皆さんと協力しながら子どもの成長を支えていきたいと思いました。」「地域と連携しながらいろいろなことができるのではないかと感じました。」という感想が聞かれました。また、委員の皆様からは、「先生方と日頃感じていたことを共有することができてよかった。」「学級など自分と関わりのある先生だけでなく、たくさんの先生方と話をすることができた。」「顔の見える関係ができて、先生との距離が縮まった。」「子どもの多様性について支援級の先生とお話することができてよかった。」「子どもたちが豊かな学校生活が送れるように、これからも子どもたちの実態に応じた活動に取り組んでいきたい。」「子どもたちを中心に保護者・地域を巻き込んだ活動がもっとできるようになると、本当の意味での三位一体の関係が築けるのではないか。」などが、あげられました。

懇談会での主な話題

①学習参加・学習支援について

- ・裁縫（ミシン）・書写・鍵盤ハーモニカ・彫刻刀・そろばん・プログラミング・昔遊び・調理実習
そばにいて丁寧なかかわりの中で支援できることも・・・
- ・地域や保護者の人材バンク（リスト）があれば・・・
- ・先生から発信してほしい
- ・放課後の子どもたちの居場所
- ・放課後の学習支援

②防犯・防災・安全

- ・地域と子どもたちのつながりを大切に
声かけリボン（安心できる大人とのかかわり）
- ・子どもたちの安全・防災意識の向上、KYT（危険予知トレーニング）

③環境・福祉・地域

- ・地域の方々の学校や子どもたちへの熱い想い
- ・保護者と学校とのつながり・かかわりの向上
- ・個に応じた指導（支援が必要な子への対応・さらに力をのばす支援）
- ・特別支援学級のことを保護者も知ること
- ・インクルーシブと支援級について
- ・「なぎさの子☆村まつり」 中学生と小学生のつながりも大切



『なぎさの子☆みんないっしょに夏の寺子屋』7月21日(金)・26日(水)・8月22日(火)・25日(金)



学校運営協議会で話し合ったことをもとに、より具体的な取り組みの第1弾として実施したのが「夏の寺子屋」。

夏休みの子どもの居場所づくりをテーマに、一緒に勉強したり、絵を描いたり、工作したり、本を読んだりする場として、松浪コミュニティセンターを会場に4回、汐見台小学区青少年育成推進協議会との共催で行いました。

毎回、保護者・スタッフを含め20名程度が参加し、スタッフの開き読みや顕微鏡を覗くことができるコーナーなどもありました、夏のひとときを学習だけでなく楽しく過ごすことができる場として、毎回顔を出してくれる子もいました。

